

アンダーシンク元止方式 取付説明

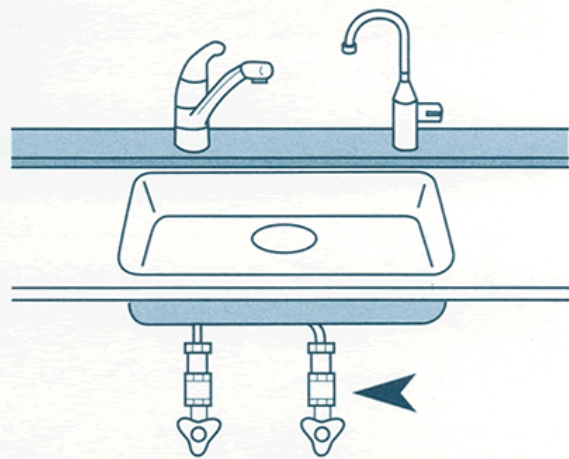
注意

●取付前のチェック

- ①水圧を必ずチェックしてください。特にアンダーシンクに設置される場合圧力は最大圧力5kg/cm²以内です。
- ②シンクに穴加工する場合はシンクのウラ側もチェックしてください。ハリヤステンレスの補強がある場合があります。

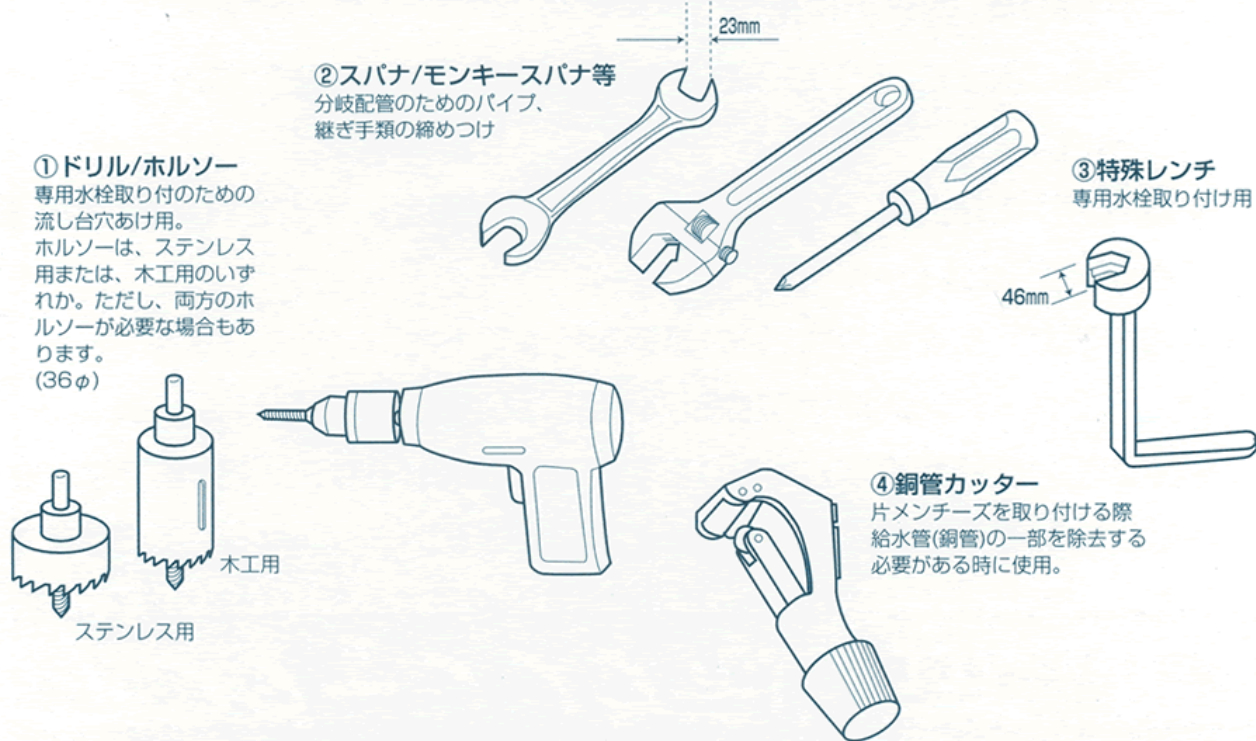
●アンダーシンク元止方式 施工が可能な給水配管

給水管が流し台の内側やボードの外側に配管され、流し台下の止水栓と水道水栓の間で分岐配管ができる給水配管の場合に、ご使用いただけます。給水管が止水栓から蛇口へ直接配管されている場合は、特別な工事が必要です。



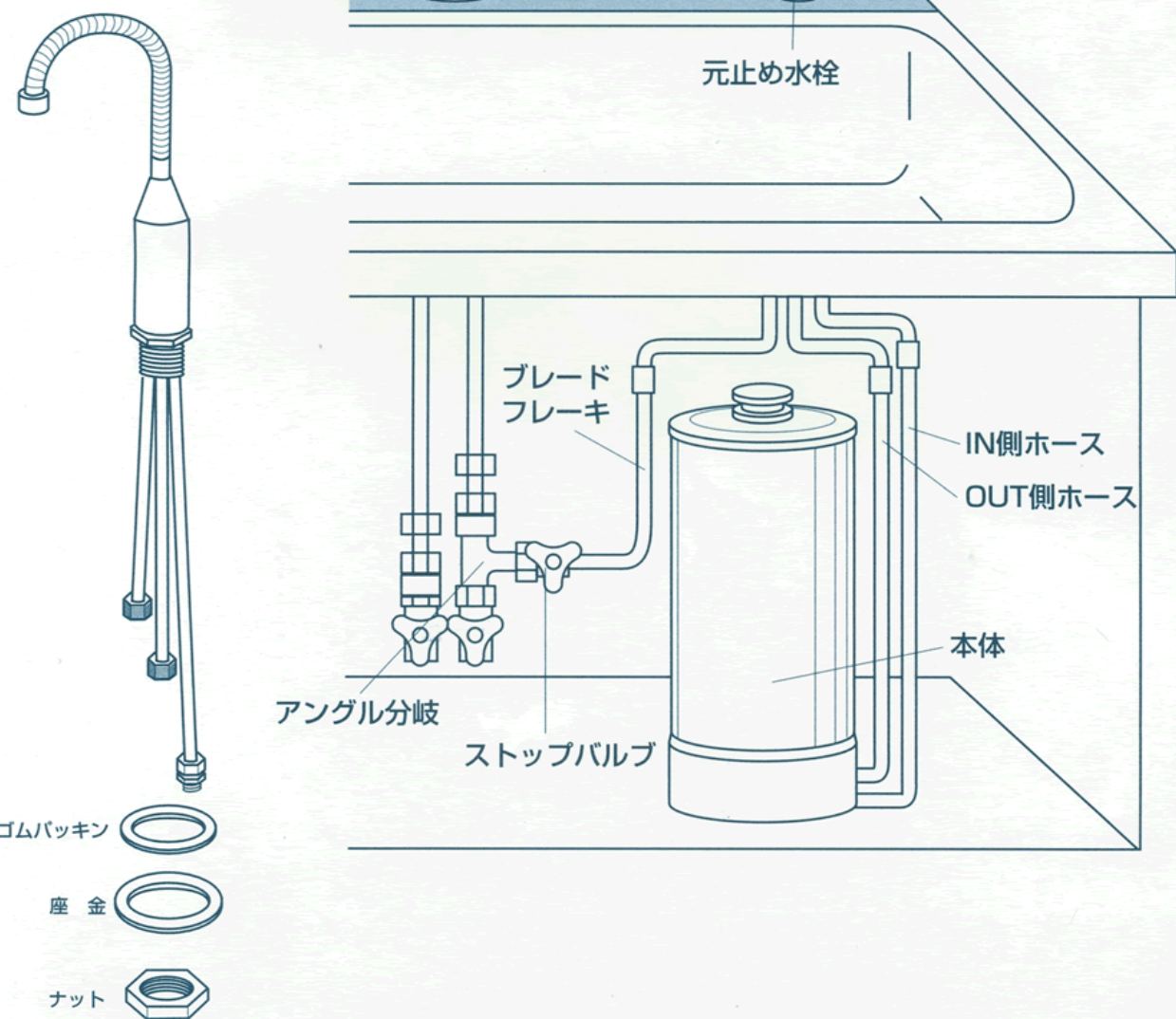
●施工に必要な工具はそろっていますか

シンク元止方式を設置する際の、分岐配管作業、並びに専用止水栓取り付けのために、次の工具が必要です。



●アンダーシンク元止方式・梱包部品

本体	1	最初に左記内容部品がそろっているかご確認ください。
元止め水栓	1	
アングル分岐(ストップバルブ付)	1	
ブレードフレキ	1	
IN側ホース	1	
OUT側ホース	1	
パッキン	8	
保証書、登録ハガキ	1	
取付説明書	1	
カートリッジ取り替えシール	1	



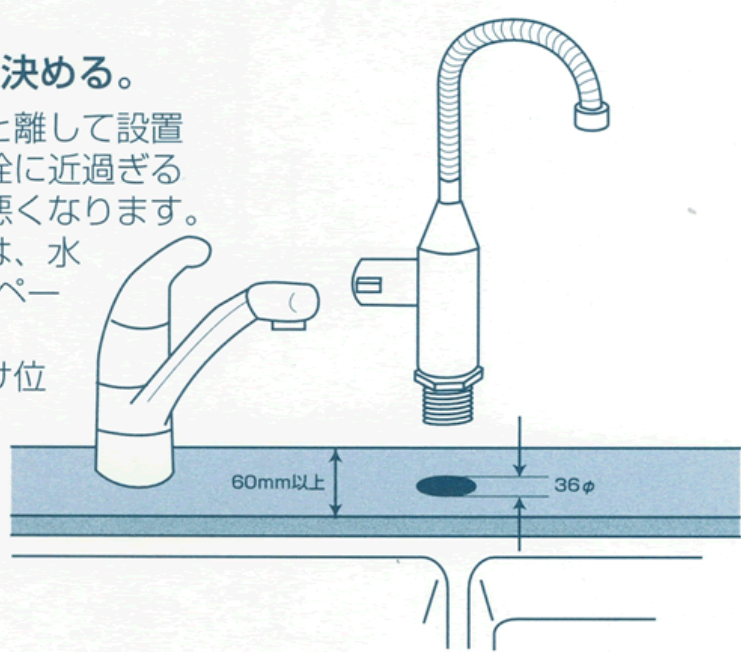
アンダーシンク元止方式 施工手順

①水道の元栓を締める

②元止水栓の取り付け位置を決める。

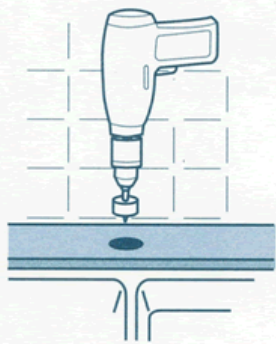
元止水栓は、既設の水道水栓と離して設置されると便利です。既設の水栓に近過ぎると、蛇口が接触し使い勝手が悪くなります。なお、元止水栓の取り付けには、水栓座金の直径60mm以上のスペースが必要です。

※キッチンメーカーより取り付け位置の指定がある場合は、指定の位置に取り付けてください。

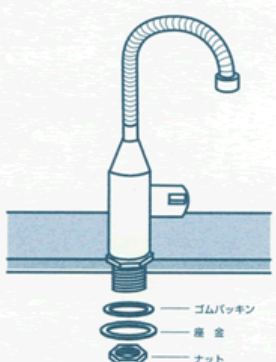


③元止水栓を取り付ける。

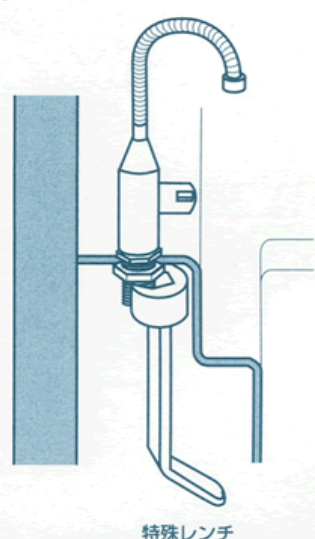
1. 元止水栓取り付け位置に、直径36φの穴をあけます。流し台の天板が厚みのあるプラスチックや人口大理石などの場合、ホルソーの切りしろが長いものをご用意ください。



2. 流し台の内側からゴムパッキン→座金の順に差し込みナットで元止水栓を固定します。

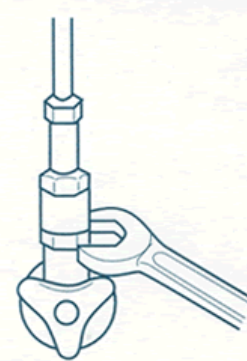


3. 流し台の裏壁と水槽の間が狭い場合は、特殊レンチを使ってナットを締め付けてください。

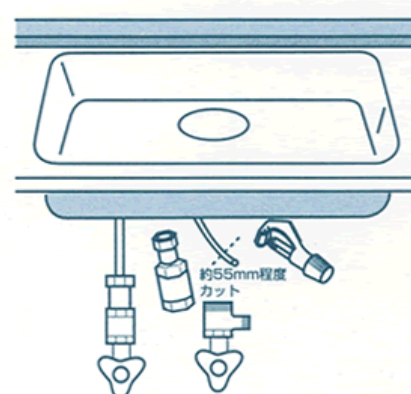
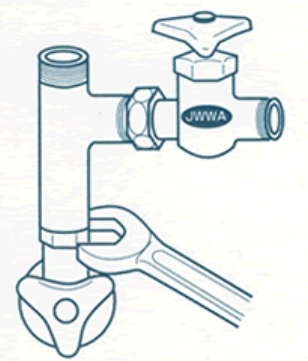


④アングル分岐(片メンチーズの取り付け)

1. 既設の水道配管を分岐する場合は、止水用アングルバルブを閉じ、給水管のアダプターの袋ナットを外します。



2. アングルバルブのねじ部に片メンチーズの袋ナット部を接続し、ナットを締めつけてください。この時、袋ナットにパッキンが挿入されていることをご確認ください。



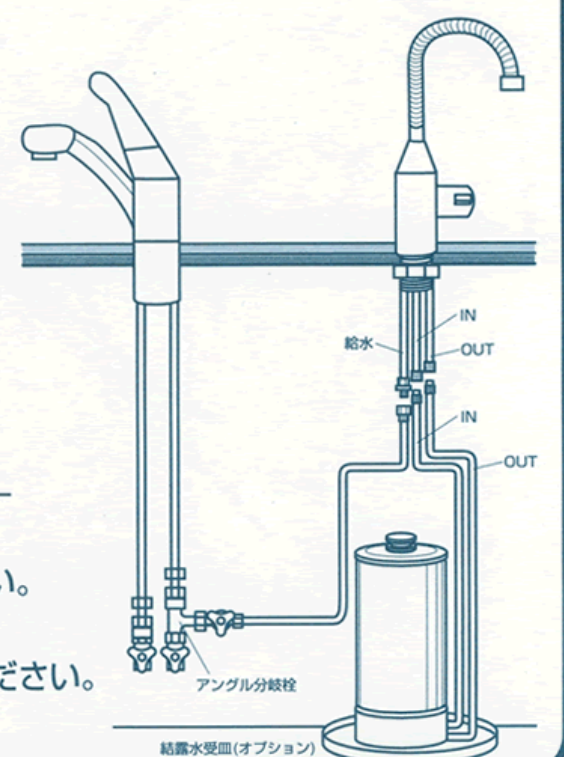
3. 既設給水用銅管のアダプターを外し、銅管部を片メンチーズの幅だけ、銅管カッターでカットしてください。
注：銅管が短い場合は切断寸法を変えて下さい。

4. 銅管端部にアダプターを付け直し、片面チーズにアダプターの袋ナットで接続、締め付け、分岐配管は終了です。

⑤配管接続の手順

1. アングル分岐栓にブレードホースを接続してください。片方を元止水栓の銅管(給水)に接続してください。
2. 浄水器IN側ホースを元止水栓の銅管(IN)に接続してください。
3. 浄水器OUT側ホースを元止水栓の銅管(OUT)に接続してください。

- ⚠必ずパッキンを入れてください。
- ⚠銅管を曲げる場合は銅管ベンダーを使用してください。
- ⚠ホース類がねじれないように締めつけてください。
- ⚠最高圧力は元止水栓までは5kg/cm²以内で使用してください。
- ⚠分解はしないでください。



取付後のチェック通水

- ①卓上取付の場合は切替コックを源水にしてください。アンダーシンク取付の場合はアングル分岐ストップバルブを閉にしてください。
- ②元栓を締めた場合は開いてください。
- ③源水を少しの間流してください。(約1分)(新築の場合は配管内の汚れが無くなるまで)

- ④浄水器に通水して下さい。水モレがある場合はその部分を直してください。
- ⑤約5分間浄水器を通水し使用可能となります。